

2019 年度事業報告

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

【1】2019 年度一般経過報告

本会は創立以来、「詩歌吟詠活動そのものが国の伝統技芸の伝承と、国民の精神文化の向上発展に寄与している」と信じ、真摯な努力を重ねて参りました。私たちはこの長い歴史の積み重ねを振り返り、先輩諸先生への感謝と誇りをもって吟詠活動に努めるとともに、「一生初心」の会訓を心に留め、勇気と行動をもって課題に挑戦して参りました。

また『温故新生』（視座を変えて）のスローガンのもと、本会が永遠に進化発展するために、伝統の良い点は残して継承し、時代の変化に即して、変えるべき点は勇気を持って変えてきました。

- ① 本部と地区連合会・各会との課題の共有については、地区連合会役員の先生、各会の会長先生、代議員の先生と意見交換をし、貴重な意見を頂戴し、事業運営の参考にさせて頂き、進めて参りました。

12 月には、当面する定年問題・会員制度・代議員選出規程等の重要課題を抱え、全国 14 地区を訪問し意見交換を行いました。

- ② 公益事業の推進は、本部事業のみに捉われず、検討を重ねており、地方における吟詠普及推進事業を進めてまいりましたが、今年度は「新型コロナウイルス」の感染拡大を防止するため、中国地区並びに四国地区での公開事業を中止しました。今後、公益事業のすそ野を拓げるため、更に幅広く地区事業をも含めて推進致します。

- ③ 中期的な採算改善に取り組むため、本部各部委員会の活動を横断的・機能的に見直しを行い、包括的に業務を統括する組織として局を設置し、各局長・副局長に業務執行役員である副会長を置き、効率化を図って参りました。事業計画・目標に対し四半期ごとに各部進捗状況を確認する仕組みの定着を図っております。

- ④ 「会館建設積立金」の余剰資金につきましては、内閣府の承認のもと、創立 90 周年・95 周年記念大会積立金、会館維持引当金として有効活用を図ります。
- ⑤ 高齢者が楽しめるよう、吟詠歌謡のCDを発売いたしました。
- ⑥ 10 ケ年の収支計画を策定し、経費の削減等、事業運営に反映させております。

重点施策の結果

1. 会員増員対策

機会のあるたびに、全会員のパワーを結集し「ひとり一声運動」の展開をお願いしてきました。

- ① 第 3 次増員対策委員会を設置し、検討を重ねた。真新しい対策はなかなか見つかからないが、従来からの施策を継続した。
- ② 各地区での吟詠普及推進事業、全国 6 か所で実施、2,552 人（内一般会員他 530 人）の参加を得た。
- ③ 再入会促進キャンペーンを継続実施し、90 人の入会を得た。
- ④ 学生会員対策として、18 歳以上準会員としてカウント。さらに、小学生以上を準会員としてカウントすることを検討した。
- ⑤ 高齢者対策として、90 歳以上の師範以上会員の会費を半額にすることを検討した。
- ⑥ 若年層対策として、一寸法師の構成吟をDVD化し出版した。
- ⑦ 東明未来塾：新指導者養成講座として、本部コース（第 5 期）・東海コース（第 4 期）・西中国コース（第 3 期）・九州コース（第 3 期）を開講し、総数 182 人が修了した。

2、定年問題（代議員制度の見直し）

積極的に若手の登用を進め、且つ現定年制で優秀な人材を失うことの無いよう、新たな枠組み制度を構築した。

3、局部性の一層の充実

「指導局」「管理局」「広報局」の三体制が効率よく実施された。

会員数は令和 2 年 3 月末現在 10,152 人となり、593 人（△5.2%）の減少となりました。

新入会者数 705 人（再入会者含む）に対し、退会者が 1,298 人でした。

吟詠人口の減少と愛好者の超高齢社会という大変厳しい環境を認識し、人生 100 年時代に相応しい、新たな視線で公益活動を継続してまいります。

2019 年度事業報告

自：2019 年 4 月 1 日～至：2020 年 3 月 31 日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行った。

公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進吟詠大会 (一般来聴公募)

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図った。又地区事情に合わせて新指導者の研修に取り組んだ。

① 2019 全国吟詠大会 in 大阪

出演者は全国より推薦された師範代以上の指導者で、広く一般の方々に古典芸能としての吟詠を、さまざまな形でお聞きいただき、吟詠普及に努めた。又、幼少年・青年層の育成の為に発表の場を作り、吟詠の普及継承を図った。

・2019 年 10 月 19 日 (土) 大東市総合文化会館サーティホール

990 人参加 (内一般会員他 230 人)

② 新春全国吟詠大会

新年を寿ぎ令和 2 年 1 月 12 日 (日) 太閤園 (大阪) に、全国より会員及び不特定多数の参加者を募り、プログラム第一部：昨年度優勝者吟詠、第二部：会員及び役員構成吟「一寸法師」吟詠、第三部：懇親会の構成で開催した。関西吟詩の優秀吟者の吟詠鑑賞および参加者全員参加の吟詠を行うと共に、一般来聴者にも紹介できた。

277 人参加(内一般会員他 50 人)

③ 吟詠普及推進研修会兼吟詠大会 (一般来聴公募)

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、不特定多数の方々に生涯学習としての詩歌吟詠の素晴らしさの紹介と吟詠鑑賞を頂いた。

・吟詠普及研修会(新教本)兼推薦師範講習会・・・2019 年 6 月 9 日 (日)

245 名参加(内一般会員他 50 人) エーリック(尼崎)

・九州大会 2019 年 6 月 16 日(日) 140 人参加(内一般会員他 30 人)

・岡山大会 2019 年 8 月 18 日(日) 110 人参加(内一般会員他 20 人)

・京滋福井大会 2020 年 2 月 9 日(日) 145 人参加(内一般会員他 30 人)

・東海大会 2020 年 2 月 16 日(日) 263 人参加(内一般会員他 50 人)

・西中国大会 2020 年 3 月 15 日(日) 新型コロナウイルス発生で中止

・四国大会 2020 年 3 月 29 日(日) 新型コロナウイルス発生で中止

(2) 周年記念大会

①総本部創立 90 周年記念大会の開催方法・予算の検討を行った。

②公認団体及び地区連合会の記念大会等への後援を行った。

・佐賀豊明会創立 65 周年記念吟剣詩舞道大会

・東京芦孝会創立 20 周年記念大会

・浜松鷺長会創立 55 周年記念祝賀会

・広島鷺曙会結成 50 周年記念吟詠大会

- ・兵庫県連合会創立 85 周年記念祝賀会
 - ・高知容鳳会創立 55 周年記念吟道大会
 - ・大阪地区連合会 65 周年記念祝賀会
- (3) 吟詠普及啓発活動の実施
- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣を行った。
 - ・幼稚園、小中学での課外授業への積極的参加を行った。
 - ・公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣を行った。
 - ・幼児、生徒（義務教育者）に教本の提供を行った。
 - ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進を行った。
 - ③ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加を行った。
 - ④ 路上ライブなどへの積極的参加を行った。
- (4) 吟詠普及啓発活動助成事業
前(3)項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行った。
- (5) 電磁的公報、機関誌発行
- ① 吟詠普及の為にテレビ放映は、費用対効果を鑑み実施は実現しなかった。
 - ② ホームページでの吟詠普及
 - ・ホームページのリニューアル後、「より見易くする、案内表示をすっきりする」を重点に改善を行った。
 - ・教場紹介コーナーの設置の検討は未着手に終わった。
 - ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し吟詠を紹介した。
 - ・若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介した。
 - ③ 機関誌「吟詩日本」を発行（一般販売）
 - ・吟詩日本を時代に即応する為にリニューアルを行った。
 - ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載を行った。
 - ・「吟詩日本」（185号、186号、187号、188号）の発行を行った。
- (6) 教本発行（一般販売）
- ① 教本冊子頒布 既刊教本に加え新刊教本の頒布を行った。

(既刊教本)	・新教本初級編	・新教本 A その 2~4
	・教本律詩編 B1~B3	・教本古詩編 C1~C3
	・教本和歌 D1・俳句 D2・新体詩(近代詩)D3 合本	
	・教本副読本(アクセント入り)	他
(新刊教本)	・新教本縮刷本 A（四句詩編）の頒布を行った。	
	・単行本 B34~B35(律詩)の頒布を行った。	
 - ② 新教本律詩編 B その 1 及び B その 2 の新刊発行の編集を行った。
 - ③ 「たのしい吟詠」の配布（無料提供用教材）
 - ・学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本（ドリフアの譜面付）の提供を継続して行った。
- (7) 海外移動教室の開講
- ・台湾移動教室（台北を中心に漢詩の世界探訪・世界遺産の見学と現地の会と交流）を実施した。
 - ・台北で故宫博物院・孔子廟・忠烈祠・総統府・国立博物館の見学、宜蘭県では西郷菊次郎ゆかりの施設見学。また、孔子直系第 79 代直裔孫孔垂長先生との交流を行った。
 - ・旭彩会台湾支部創立 20 周年記念大会に参加し吟詠交流を行った。
- 2019 年 10 月 21 日~24 日 参加者 36 人

(8) 国内移動教室の開講

国内の史跡、詩歌ゆかりの地を巡り、歴史、文化の理解を深め詩吟の普及向上を図った。

- ・哲友会主管で日帰り吟行会を行った。

日時：2019年5月22日(水) 参加者180人

行先：院庄・作楽神社・備前長船刀剣博物館（後醍醐天皇と忠臣
児島高德ゆかりの地歴望）

- ・大阪地区連合会（詩游クラブ）主管で日帰り吟行会を行った。

日時：2019年11月12日(火) 参加者44人

行先：赤穂・龍野（赤穂四十七士ゆかりの地歴望と童謡赤トンボ
のふるさと歴望）

(9) 災害復興支援活動の実施

- ・2019年台風19号及び激甚災害の義援金募金活動を実施した。
- ・事業開催毎に募金箱による災害復興義援金の募金活動を行い募金による義援金は激甚災害義援金と合わせ日本赤十字社に寄託した。

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会を実施した。（一般来聴歓迎）

① 全国新人中間層競吟大会 2019年11月10日(日)
エーリック(尼崎) 参加者600人 出吟者約272人

② 全国準師範師範代・指導者級吟士権大会
2019年12月8日(日)
現代劇場(高槻) 参加者600人 出吟者約327人

③ 全国競吟大会予選大会
・大阪地区大会・九州地区大会・西中国地区大会・岡山地区大会
・東海地区大会・四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会
・滋賀地区大会・京都地区大会・和歌山地区大会

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会を実施した。

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与した。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し合格者に指導者としての資格を授与し、吟詠普及活動実施を要請した。

① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は公認団体毎に実施し、
二次審査は総本部において実施し、会長が認定した。

2019年7月1日 昇段免許授与

2020年1月1日 昇段免許授与

② 地方昇格試験および研修会（師範・準師範・師範代）を実施した。

福岡試験場 2019年6月16日(日)

広島試験場 2019年6月16日(日)

名古屋試験場 2019年6月16日(日)

③ 昇格試験及び研修会を実施した。（総本部試験場）

師範 2019年7月21日(日)

準師範 2019年7月21日(日)

師範代 2019年7月28日(日)

（昇格試験に合格したのものには、9月1日付で、9月8日の東明祭におい

て免許状を授与した。)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

① 吟詠普及推進研修会

公益目的事業1・詩歌吟詠の普及推進事業に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行った。

- ・ 吟詠普及推進研修会(新教本)兼推薦師範講習会(本部)
2019年6月9日(日) エーリック(尼崎)
245人参加(内一般会員他50人)
- ・ 吟詠普及推進研修会九州地区大会
2019年6月16日(日) 140人参加(内一般会員他30人)
- ・ 吟詠普及推進研修会岡山地区大会
2019年8月18日(日) 110人参加(内一般会員他20人)
- ・ 吟詠普及推進研修会京滋福井地区大会
2020年2月9日(日) 145人参加(内一般会員他30人)
- ・ 吟詠普及推進研修会東海(浜松)地区大会
2020年2月16日(日) 263人参加(内一般会員他50人)
- ・ 吟詠普及推進研修会西中国地区大会
2020年3月15日(日) 新型コロナウイルス発生で中止
- ・ 吟詠普及推進研修会四国地区大会
2020年3月29日(日) 新型コロナウイルス発生で中止

② 指導者研修会を行った。

- ・ 推薦師範講習会 2019年6月9日(日) エーリック(尼崎)
- ・ 本部研修会(2020年度師範昇格試験課題詩講習)
2019年9月1日(日) エーリック(尼崎)
吟詠6題 和歌3題 174人参加(内一般会員他20人)
- ・ 本部研修会(2020年度準師範師範代昇格試験課題詩講習)
2019年11月24日(日) エーリック(尼崎)
律詩8題 絶句10題 165人参加(内一般会員他40人)
- ・ 新教本講習会
 - 1) 2019年6月9日(日) エーリック(尼崎)
八句詩3題 245人参加(内一般会員他50人)
 - 2) 2019年9月8日(日) 大東市市民会館
八句詩3題 320人参加(内一般会員他60人)

③ 吟道大学講座を開講した。

- ・ 2020年2月1日~2日 パナソニックリゾート大阪
- ・ 漢詩、和歌、俳句、新体詩の吟詠技能・発声技能研修、中国・日本の歴史講座。
136人参加(内一般会員他20人)

④ 新指導者養成講座「東明未来塾」を開設、182人が修了した。

- ・ 漢詩鑑賞、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性等の研修と自主性発揚の研修。

○総本部コース

- ・ 開催回数 6回/年
2019年5月25日(土) 2019年7月27日(土)

2019年9月28日(土) 2019年11月30日(土)
2020年1月25日(土) 2020年3月28日(土)
・受講者数 47人 ※6回目は新型コロナ発生で中止

○地方コース

・西中国地区 3回/年
2019年7月20日(土) 2019年8月10日(土)
2019年9月21日(土)
・受講者数 56人
・東海地区(静岡・愛知・三重含) 3回/年
2019年10月6日(日) 2019年11月2日(土)
2019年12月15日(日)
・受講者数 40人
・九州地区(福岡・鹿児島) 3回/年
2019年10月6日(日) 2019年11月23日(土)
2019年12月22日(日)
・受講者数 39人

- ⑤ 作詩講座 (一般公募)を実施した。
作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技
量の向上を図った。

・毎月第2金曜日 午後3時～5時00分迄
年11回(前期、後期に分けて)
総本部 会議室 参加者数 延 220人

- ⑥ 作詩添削を実施した。
一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削な
どの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上
を図った。

・5回/年 参加作品点数 200点

- ⑦ 漢詩鑑賞講座 (一般公募)を開講した。
漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景の解説を通して広く
一般の方にも漢詩の普及を図った。

・2カ月/1回 午後2時～4時00分迄
年6回 総本部会議室 参加者数 延 400人

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新し
い教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求
するなどの研究を行った。

・指導局指導部会 11回/年 ・指導局教養部会 11回/年
・指導局教本作成部会 15回/年
・秀詠グループ吟詠研究会 10回/年

(5) 部会・委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟
詠普及活動のための公報活動を行った。

・広報局広報部 13回/年 ・広報局ホームページ委員会 8回/年
吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案
の提言を行った。

3. 相互扶助事業

その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

- (1) 東明祭の開催と功労者顕彰を行った。
- ① 東明祭開催 2019年9月8日(日)
 - ② 功労者等顕彰の実施 2019年9月1日付
細則第1-2号13条の顕彰基準に定める称号を授与。
吟功章 (上師範、高師範、総師範)
特別吟功章 (宗 範)
特別功労賞 (宗 帥)
 - ③ 慶祝、成人祝 の実施 2019年7月1日付
 - ④ 会員増員表彰の実施 2019年9月1日付

4. その他の事業(法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

- (1) 定時総会の開催
2019年6月1日(土) エーリック(尼崎市)
- (2) 各種会議
- ① 総会
 - ② 役員会(正副会長会、理事会、)
 - ③ 元老・相談役・参与会議
 - ④ 局部会(管理局総務部・管理局財務部)
 - ⑤ 懇談会
青年部員懇談会
都府県連合会代表者会議
都府県連合会連絡協議会
公益業務改善委員会
 - ⑥ 東明未来塾運営委員会
 - ⑦ 特別審議委員会
 - ⑧ 第三次増員対策委員会
 - ⑨ 定年問題検討委員会
 - ⑩ その他特別検討委員会

以上